

6. 予算見積りは、大型物件ほど長期間に亘る工事となるため、アルミ地金等の変動リスクも考慮し、見積り有効期間後は、再度見積りすることが重要である。
7. 予算見積りは、施主・設計事務所に見積書を提出し、適正な予算を確保することが目的で、積算担当者は正確な積算に心掛ける。

〔3〕 「入札見積り」の内容説明と注意事項

1. 建設会社が決定される一つの方法が入札である。建設会社が入札用の総請負金額を決定するために建具業者に依頼する見積りが入札見積りである。
2. 応札する建設会社は、複数の建具業者に見積り依頼するため、建築図面が不足して一式全てを入手できない場合もある。また先方拾い出しや建具表のみの見積り依頼という場合、見積り上の不明点があるので、営業担当者と打合せして、建築図面一式を入手できるようにする。
3. 予算見積りが既に提出されている場合でも、図面の不備、変更等があるので、建築図面を一式入手して、図面と予算見積りの内容を確認して再見積りをする。
参考図面が折り込まれている場合でも建築図面と確認して、再見積りをする。
4. 積算を実施する上で不明点がある場合、引合い先の建設会社を通じて設計事務所に問合せをしてもらう。引合い先の建設会社が落札しない場合、その不明点が落札した建設会社にはわからない場合があるので、見積り範囲、見積り条件等は明記しておく。

※特命工事（参考）

1. 建設会社が決定される方法の一つに施主から一社指名で決定する特命工事がある。特命で決定した建設会社に提出する見積りを下見積りと呼ぶことがある。
2. 下見積りの内容説明と注意事項は、予算見積りの1. ～7. と入札見積り4. がある。

〔2〕アルミニウム材料

1. アルミニウム合金

(1) アルミニウム合金とは

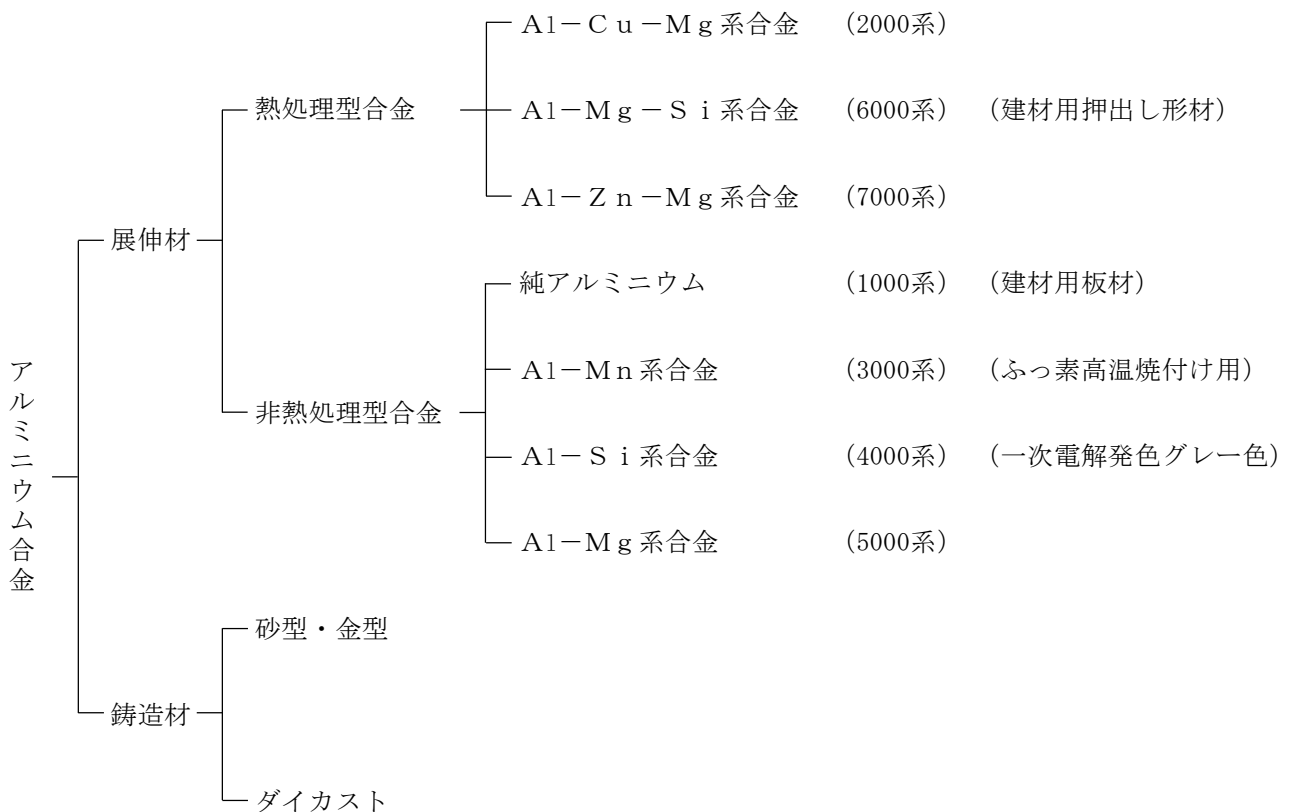
アルミニウムのうち、純度99.00%以上のものを純アルミニウムと呼び、また種々の元素を添加して強度を高めるなどの性質を改善したものをアルミニウム合金と呼んでいる。

アルミニウム合金は、最終製品のいろいろな要求や用途に必要な性質によって、板、箔、形材、管、棒、線および鍛造品に加工する展伸材（圧延用合金）と鋳物、ダイカストなどの鋳造材

（鋳造用合金）に大別され、またそれぞれ非熱処理型合金と熱処理型合金として分類ができる。

非熱処理型合金は製造のまま、あるいは圧延などの冷間加工をすることによって、熱処理型合金は、焼入れ、焼戻しなどによって所定の強さを得ることができる。

(2) アルミニウム合金の分類



① 展伸材（圧延用合金）

展伸材は、圧延加工や押し出し加工によって、板、箔、形材、管、棒などのいろいろな形状に加工される合金で鍛造品も含まれる。

アルミニウム合金のおもな性質は、添加元素の種類と添加量によって影響される。これらは上記のような合金系に区分され、合金系ごとに類似した性質をもつ。したがって、材料の選択は、使用目的に応じて最適な性質をもつ合金を選ぶことが必要である。

② 鋳造材（鋳造用合金）

鋳造材は、各種鋳造法を利用して鋳物を作るための合金であるが、適用する鋳造法によって要求特性が異なるので、JIS規格では鋳造法別に分類、規定されている。

鋳造材には、砂型・金型鋳物用合金とダイカスト用合金の二つの系統がある。

注：上記文章は、一般社団法人日本アルミニウム協会のホームページより引用、編集しています。

[3] スチール材料

1. スチール板材

(1) 建材に使用する鋼板（令和7年版 公共建築工事標準仕様書では下記による）

①主に鋼製建具に使用する鋼板類は次による。

鋼板は、JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）に基づき、めっきの付着量はZ12又はF12を満足するものとする。
 なお、あらかじめクロメートフリー処理による化成皮膜処理を行ったものを用いる。

②主に鋼製軽量建具に使用する鋼板類は次による。

- 鋼板は、JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）又はJIS G 3313（電気亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）に基づき、めっきの付着量はZ06、F06又はE24を満足するものとする。
- カラー鋼板は、JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）による。色合いは建具の製造所の標準色とする。
 JIS G 3302、又はJIS G 3313に基づく鋼板の場合、塗装は建具製作所の仕様による。
- ビニル被覆鋼板は、JIS K 6744に基づき、被覆原板の種類はSG又はSE、めっきの付着量はZ06、F06又はE24を満足するものとする。

(2) 亜鉛めっきの付着量（JIS規格による）

①溶融亜鉛めっき鋼板

・両面等厚めっきの両面最小付着量 単位：g/m²（両面）

めっき区分	めっきの両面付着量表示記号	両面1点平均付着量	両面3点法最小付着量	めっき区分	めっきの両面付着量表示記号	両面3点法平均付着量	両面1点最小付着量
非合金化	Z06	60	51	合金化	F06	60	51
	Z08	80	68		F08	80	68
	Z10	100	85		F10	100	85
	Z12	120	102		F12	120	102
	Z18	180	153		F18	180	153
	Z20	200	170				
	Z22	220	187				
	Z25	250	213				
	Z27	275	234				
	Z35	350	298				
	Z37	370	315				
	Z45	450	383				
Z60	600	510					

②電気亜鉛めっき鋼板

・片面の最小付着量

単位：g/m²

めっき区分	めっきの片面付着量表示記号	亜鉛の最小付着量（片面）		（参考）亜鉛標準付着量（片面）
		等厚めっきの場合	差厚めっきの場合	
非合金化	EB	2.5	—	3
	E8	8.5	8	10
	E16	17	16	20
	E24	25.5	24	30
	E32	34	32	40
	E40	42.5	40	50

[4] ステンレス材料

1. ステンレス鋼とは

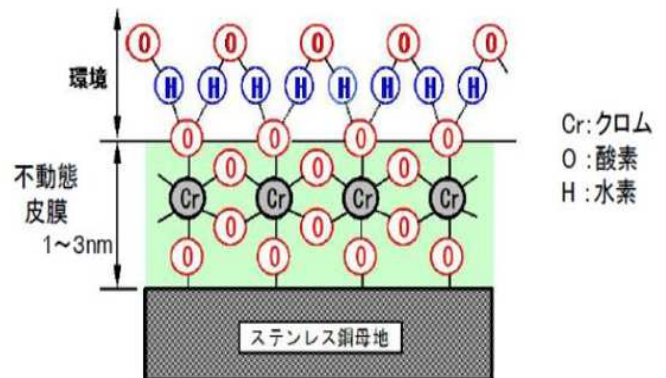
- ・ステンレス (Stainless steel) とは、ステイン＝「汚れ」「錆」を表す言葉にそれを否定する「レス」をつけた造語で、ステンレス鋼は錆びにくくするため、鉄にクロムやニッケルを含ませた合金鋼で「ステンレススチール」「ステンレス」「ステン」などと呼ばれる。
- ・JISにおける略号はSUS (サス)。

2. 特徴

- ・ステンレス鋼の耐食性能は基本的にはクロム (Cr) の含有量で決定され、含有量は12～26%の範囲である。クロムが空気中で酸素と結合し不動態皮膜を形成し耐食性を持つわけであるが、更にニッケル (Ni) を加える (6～22%) ことで硫酸、塩酸等の非酸化性の酸に対する耐食性を高めている。

他にもモリブデン (Mo)、チタン (Ti)、ニオブ (Nb) などの添加元素を含有するものもある。

- ・普通鋼に比べて強度は高いが構造用に用いるとクリープ (応力がかかった状態での時間経過による歪み) を起こすことがある。又鉄に比べると酸化されにくい (電位が高いという) ため、異種金属と接触すると電食を起こす。



ステンレス鋼の不動態皮膜の模式図

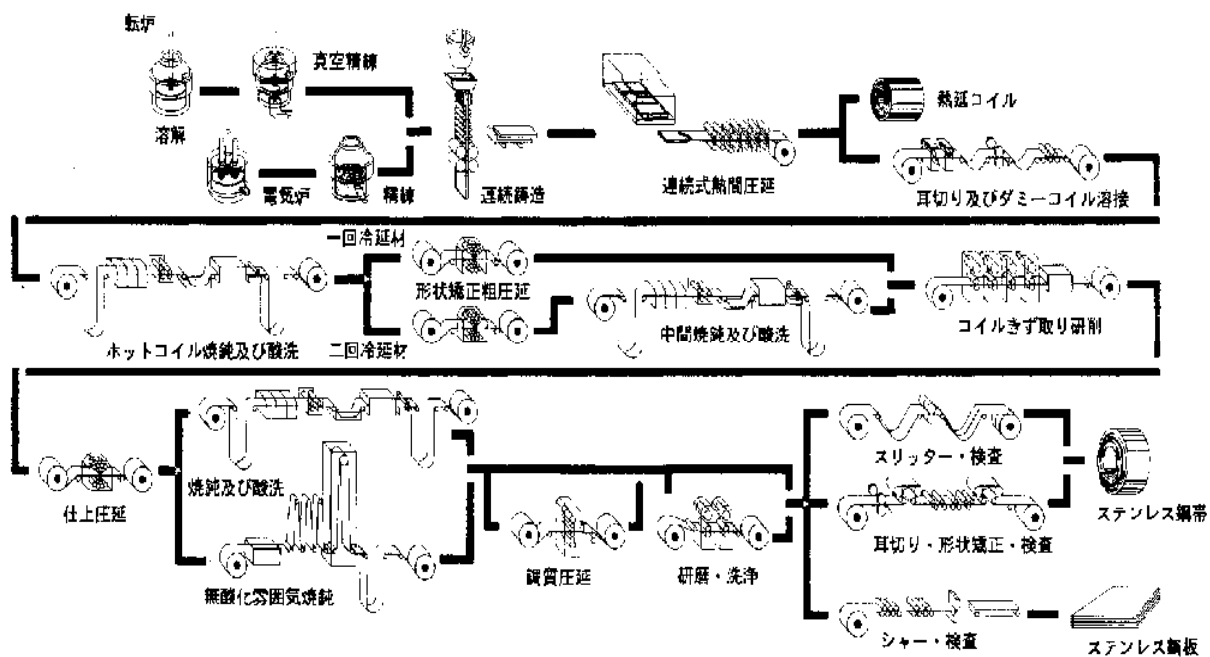
3. 主なステンレス鋼板

	オーステナイト系		フェライト系	
特徴	鉄 (Fe) + クロム (Cr) + ニッケル (Ni) の合金の「クロム-ニッケル鋼」(301系) で非磁性である。熱伝導性は低く、熱膨張率が高く、伸びが良く絞りや張り出し成形性が高い。		鉄 (Fe) + クロム (Cr) の合金の「クロム鋼」(400系) で磁性をもつ。オーステナイト系に比べると伸び性能は劣る	
JIS	SUS 304	SUS 316	SUS 430 J 1 L SUS 443 J 1	SUS 445 J 1 SUS 445 J 2
備考	建具等では一般的に使用される鋼材。	SUS 304 より耐食性に優れた鋼種のため、塩害地向けに使用される。	SUS 304 と同等の使用範囲。	SUS 316 と同等の使用範囲。

※ニッケルの資源不足、価格高騰等の影響により、耐食性を向上させたフェライト系鋼が開発された。

標仕には、SUS 304に加えて、SUS 430 J 1 L、SUS 443 J 1 が追記されている。

4. ステンレス鋼板のできるまで



5. ステンレス板材の製作範囲

(参考資料) 製作範囲表 (材質はSUS304仕上はH L) 2012・10

単位mm

メーカー名	板厚	最大板巾	最大長さ
日本冶金工業(株)	1.5~3.0	1,524	6,000
日本製鉄(株)			

※注意するポイント

- 1) 長さ寸法はメーカー及びコイルセンターの設備によるが(約10,000mm前後出来る)各加工工場の設備による。
- 2) 最大板巾は仕上(上記表はH L)により最大板巾が異なる場合が多いのでメーカー及び取り引き先に問合せする。
- 3) 最大板巾は、板厚により異なるので、詳細はメーカー及び取り引き先に問合せする。

6. 問屋及びメーカー在庫(流通在庫)

問屋及びメーカー在庫 (材質はSUS304、仕上はH L) 2012・10

単位mm

寸法 板厚	寸法					
	板巾		長さ		板巾	
	板巾	長さ	板巾	長さ	板巾	長さ
1.5	1,000	2,000	1,219	2,438	1,524	3,048
2.0						
2.5						
3.0						

※注意するポイント

- 1) 板巾は仕上H Lの場合で、その他特殊仕上の時は取り引き先に問合せする。
- 2) 問屋在庫は問屋により在庫寸法が異なるので取り引き先に問合せする。

4. 国土交通省公共建築工事標準仕様書と J I S 規格

(1) 表面処理の種類と膜厚

国土交通省公共建築工事標準仕様書等では下表の種別を J I S と対比して定められている。

表14.2.1 表面処理の種別

種 別	表 面 処 理	規格番号	規 格 名 称	種 類	
AB-1種	無着色陽極酸化皮膜	JIS H 8601	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜	AA15	
AB-2種	着色陽極酸化皮膜				
AC-1種	無着色陽極酸化皮膜			AA6	
AC-2種	着色陽極酸化皮膜				
BA-1種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜	JIS H 8602	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化塗装複合皮膜	A2(過酷な環境の屋外)	
BA-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜				
BB-1種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜			B(一般的な環境の屋外)	
BB-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜				
BC-1種	無着色陽極酸化塗装複合皮膜				C(屋内)
BC-2種	着色陽極酸化塗装複合皮膜				
C 種	化成皮膜の上に塗装	JIS H 4001	アルミニウム及びアルミニウム合金の陽極酸化皮膜の塗装板及び条	—	

(注) 陽極酸化皮膜の着色方法は、特記による。特記がなければ、二次電解着色とし、色合等は特記による。

種別の記号の意味は下記による。

1文字目：	2文字目：	3文字目
表面処理の種類を表す	皮膜又は複合皮膜の種類(適用環境)を表す	無着色と着色の分類を表す
A：陽極酸化皮膜	A：過酷な環境の屋外	1：無着色
B：陽極酸化塗装複合皮膜	B：一般的な環境の屋外	2：着色
C：塗装	C：屋内	

* 塗装は種類が一つなので、1文字目のみで表す(C種)

(2) J I S 規格

① JIS H 8601¹⁹⁹⁹ 皮膜厚さ 単位 μm

種類	AA3	AA6	AA10	AA15	AA20	AA25
平均皮膜厚さ	3.0以上	6.0以上	10.0以上	15.0以上	20.0以上	25.0以上

(注) アルミ部材において3~5ヶ所の測定点を設けた各測定点の平均値とし、各測定点の膜厚は80%に満たない部分があつてはならない。

② JIS H 8602²⁰¹⁰ 複合皮膜の種類

2010年の改正により、これまでの仕様(膜厚)規定から性能規定に改正された。

種類	適用環境(参考)	皮膜厚さ	塗膜厚さ
A1	屋外(過酷な環境でかつ紫外線露光量の多い地域)	(最低: $5\mu\text{m} \times 80\%$ 以上)	規定なし
A2	屋外(過酷環境)		
B	屋外(一般環境)		
C	屋内		

* 2010年の主な改正点

- ・塗膜の種類において、透明系/着色系の区別(P種)が廃止された。
- ・新たに紫外線量の多い過酷環境での使用を想定した種類「A1」が設定された。
- ・屋外過酷環境はA1、A2の2種類になった。
- ・皮膜厚さは平均 $5\mu\text{m}$ 以上、塗膜厚さは規定なしとなった。

(表面処理メーカー毎の仕様による皮膜・塗膜厚さになります)

〔2〕 スチール建具の塗装

1. 塗装の必要性

スチールの材料は、亜鉛めっき及び化成処理(クロメートフリー)により、材料そのものに初期防錆性能を持たせているが、そのままでは、空気中の酸素及び水と反応して、表面に錆を生じる。

スチール建具を錆から守るために錆止め塗装及び上塗り塗装が重要な役割を果たしている。

2. 錆止め塗料塗り

公共建築工事標準仕様書(以下、標仕)では、鋼材の塗装については、「亜鉛めっき鋼面」と「鉄鋼面」における塗装仕様を規定しているが、「鉄鋼面」については形鋼建具等に限定しているため、ここでは、鋼製建具によく使用する「亜鉛めっき鋼面」について説明する。

(1) 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ

・鋼製建具等に使用される亜鉛めっき鋼板の素地ごしらえは、鋼板製造所で化成皮膜処理されたものに

①汚れ、付着物除去 ②油類除去 を行う。(標仕 表18.2.3 亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえ B種による)

(2) 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗装

公共建築工事標準仕様書では、亜鉛めっき鋼面の錆止め塗料について、以下のように規定されている。

表18.3.2 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料の種別

種別	規格番号	規格名称	塗付け量 (kg/m ²)	標準膜厚 (μm)	適用
Az種	JPMS 28	一液形変性エポキシ樹脂 さび止めペイント	0.10	30	屋外 屋内
Bz種	JASS 18M-109	変性エポキシ樹脂プライマー (変性エポキシ樹脂プライマーおよび弱 溶剤系変性エポキシ樹脂プライマー)	0.14	40	屋外 屋内
Cz種	JASS 18M-111	水系さび止めペイント	0.11	30	屋内

(注) JPMS 28 は日本塗料工業会規格、JASS ***-*** は日本建築学会材料規格である。

*環境問題の観点から鉛フリー化が進み、従来のJIS K 5629 は廃止され、平成28年版「標仕」よりA種の錆止め塗料は、一液形変性エポキシ樹脂さび止めペイント JPMS 28 に変更された。

(注意事項)

- ・Az種、Bz種、Cz種の種別により、価格差があるので注意する。
- ・同じ種別の塗料でも、塗料の品番により価格差がある。塗料を指定する場合は注意する。
- ・海岸エリアの物件など、塩害を考慮した物件では、マリンペイントなどが指示される場合がある。

(3) 亜鉛めっき鋼面の錆止め塗装工程

①標仕では亜鉛めっき鋼面の錆止め塗装工程について、以下のとおり規定されている。

・亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗りは表18.3.5により、種別は特記による。

特記がなければ、鋼製建具はA種とし、その他はB種とする。

表18.3.5 亜鉛めっき鋼面錆止め塗料塗り

工 程		種別		塗り工法 その他
		A種	B種	
素地ごしらえ		○ (注)	—	表18.2.3によるA種 ただし、鋼製建具等はB種
		—	○ (注)	表18.2.3によるB種
1	錆止め塗料塗り (下塗り1回目)	○	○	18.3.2(2) による。
2	研磨紙ずり	○	—	研磨紙 P120～180
3	錆止め塗料塗り (下塗り2回目)	○	—	工程1に同じ。

(注) 素地ごしらえの種別は、塗り工法その他の欄による。

(a) 1回目の錆止め塗料塗りは、鋼製建具等の製造所において、次の部分の範囲を行う。

- ① 鋼製建具の組立後の見え掛り部分
- ② 鋼製建具の組立後に取り付ける押縁等の見え隠れ部分

* 鋼製建具等の両面フラッシュ戸の表面板の裏側部分 (中骨、力骨含む) については、組立時における溶接で塗膜が焼失すること、密閉部分で錆の進行が殆どないことから、塗装しないこととなっている。

(b) 2回目の錆止め塗料塗りは、工事現場において取付け後、汚れ及び付着物を除去し、塗膜の損傷部を錆止め塗料で補修し、平滑に仕上げた後に行う。ただし、取付け後、塗装困難となる部分は、取付けに先立ち行う。

3. 亜鉛めっき鋼面の仕上げ塗料塗り

現場仕上げ塗料塗りについては、建設会社の施工範囲で建具業者の工事範囲外である。

よって、詳細工程等は割愛し、塗料の種別、錆止め塗料との組み合わせについて説明する。

「標仕」では、下表のとおり規定されている。

(仕上げ塗装と錆止め塗料の関係)

令和4年版「標仕」

仕上げ塗装の種類	錆止め塗料・工程	「標仕」
合成樹脂調合ペイント塗り ※1 (SOP)	JPMS 28「一液形エポキシ樹脂さび止めペイント」、 (下塗り1回目まで工場、2回目は現場)	18章4節
耐候性塗料塗り ※2 (DP)	JASS 18 M-109「変性エポキシ樹脂プライマー」 (下塗り1回目まで工場、2回目は現場)	18章7節
つや有合成樹脂調合エマルジョン ペイント塗り (EP-G)	JASS 18 M-111「水系さび止めペイント」 (下塗り1回目まで工場、2回目は現場)	18章8節

※1 フタル酸樹脂エナメル塗料塗りが、SOP仕様との差異がなくなったことにより「標仕」から削除された合成樹脂調合ペイントも広い意味でフタル酸系に属する。

※2 平成22年版「標仕」で、下表の3種類が「耐候性塗料塗り (DP)」という名称で統合された。耐候性塗料塗りの場合、実際には具体的に、下表の分類で指定されることがある。

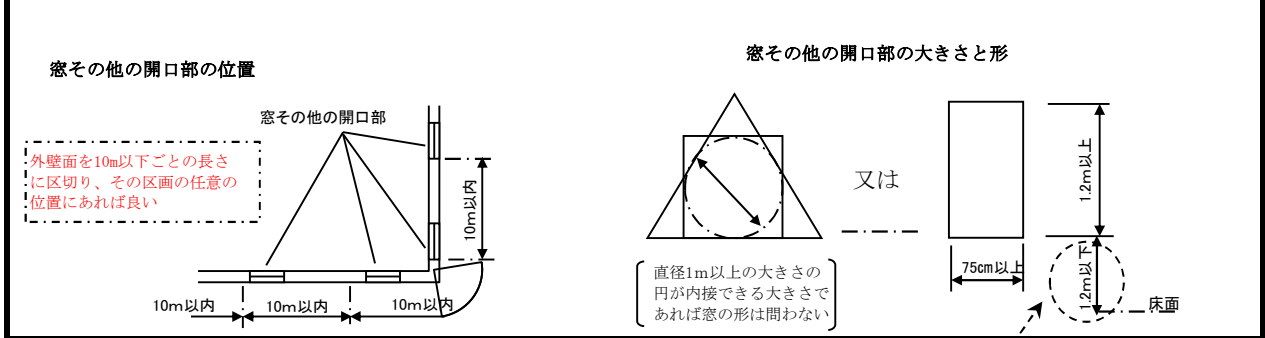
平成19年版「標仕」

仕上げ塗装の種類	錆止め塗料・工程	「標仕」
2液形ポリウレタンエナメル塗り (2-UE)	JASS 18 M-109「変性エポキシ樹脂プライマー」 (下塗り1回目まで工場、2回目は現場)	18章4節
アクリルシリコン樹脂エナメル塗り (2-ASE)		18章7節
常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り (2-FUE)		18章8節

(注)(2-UE)をDP3級、(2-ASE)をDP2級、(2-FUE)をDP1級と呼ぶことがある。

③ 非常用進入口に代わる開口部（代替進入口）の構造（施行令126条の6の二）

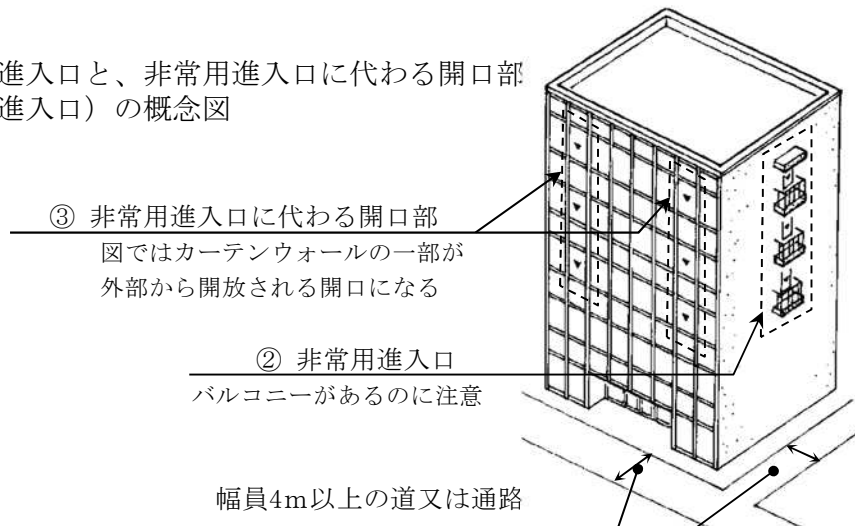
○道又は道に通ずる幅員4m以上の通路その他の空地に面する各階の外壁面に窓その他の開口部（直径1m以上の円が内接できるもの又はその幅及び高さが、それぞれ、75cm以上、1.2m以上のもので、格子その他の屋外からの進入を妨げる構造を有しないものに限る。）を当該壁面の長さ10m以内ごとに設けている場合。



注：開口部の下端から床面までの高さは1.2m以下とする（住指発第905号）

注：各寸法は「有効開口寸法」です。開き窓などの障子厚（見込）に注意！

※非常用進入口と、非常用進入口に代わる開口部（代替進入口）の概念図



④（非常用進入口を設けない）例外について

○屋外から進入を防止する必要がある特別の理由を定める件

（平成12年5月31日 建設省告示1438号）

一、 次のいづれかに該当する建物について、当該階に進入口を設けることにより周囲に著しい危害を及ぼすおそれがあること。

- イ 放射性物質、有毒ガスその他の有害物質を取り扱う建築物
- ロ 細菌、病原菌その他これらに類するものを扱う建築物
- ハ 爆発物を取り扱う建築物

二、 次に掲げる用途に供する階に進入口を設けることにより目的の実現が図られないこと。

- イ 冷蔵倉庫
- ロ 留置場、拘置所その他 人を拘禁することを目的とする用途
- ハ 美術收藏品、金庫その他これらに類する用途
- ニ 無響室、電磁しゃへい室、無菌その他これに類する用途

3. 防犯建物部品の種類(17種類)

	種類	問い合わせ先団体	
ドア関係	ドア (A種) (※主として3階建以下の低層住宅用ドア)	(一社)日本サッシ協会	
	ドア (B種) (※主としてビル・マンション用のドア)	(一社)日本シャッター・ドア協会	
	ガラスドア (※主として勝手口用のガラス部分の大きいドア)	(一社)日本サッシ協会	
	上げ下げ内蔵ドア (※主として勝手口用のガラス部分が上下に動くドア)		
	引戸 (※玄関用の引戸)		
	ガラス引戸 (自動を含む)		
窓関係	錠、シリンダー及びサムターン	日本ロック工業会	
	サッシ	引き形式(引違い、片引き、引分け)	(一社)日本サッシ協会
		開き形式(開き、たてすべり出し、横すべり出し、突出し)	
		折りたたみ形式(片開き、両開き)	
		上げ下げ形式(片上げ下げ、両上げ下げ)	
	ガラス	(一社)板硝子協会	
	ウインドウフィルム	日本ウインドウ・フィルム工業会	
	雨戸	(一社)日本サッシ協会	
	面格子		
	窓シャッター	(一社)日本シャッター・ドア協会	
シャッター関係	重量シャッター	(一社)日本シャッター・ドア協会	
	軽量シャッター		
	オーバーヘッドドア		
	シャッター用スイッチボックス		

※FIX窓について

公表対象ではありませんが、下記条件を満たすことにより、侵入防止に有効であるとみなされます。

- (1)防犯ガラス(防犯建物部品の目録に掲載されたガラス、またはそのウインドウフィルムを貼り付けたガラス)を使用。
- (2)ガラスのかけ代は10mm以上を確保。
- (3)押縁の構造は「内押縁」を原則とし、「外押縁」とする場合は、ガラス押えをシールとするか、ガラスが容易に外れない外れ止め機構を有する構造とする。

4. 防犯建物部品となる組み合わせ例

①防犯建物部品	公表された商品	+	防犯ガラス ^{※1※2}
	公表商品を用いた連窓・段窓 (出窓・ドア・引戸の袖部・ランマ部含む)	+	
②防犯建物部品 (付属部品で対応)	一般仕様品 または 公表された商品	+	公表された商品(5分仕様) ・面格子 ・窓シャッター ^{※3} ・雨戸(鏡板付戸袋枠) ^{※3}
	一般ガラス または 防犯ガラス	+	
③侵入防止に有効な サイズ	一般仕様品で通過不可能サイズ ^{※4}	+	一般ガラス

※1: 官民合同会議で公表されたガラス、または公表されたウインドフィルムを貼り付けたガラス。

※2: ガラスののみ込み寸法が10mm以上必要です。

※3: 窓シャッター・雨戸は、開放時の防犯性能はありません。サッシ部も防犯仕様とすることをおすすめします。

※4: 開閉機構を有するサッシ枠の内法において次の大きさのブロックのいずれも通過が不可能と設定したものを。

- (1) 400mm×250mmの長方形
- (2) 400mm×300mmの楕円形
- (3) 直径が350mmの円

X. 見積書の作成内容

見積書は各物件の受注活動の基本となる最も重要な書類であり、契約のもととなるものである。従って見積書の作成にあたり、以下の各項目を理解し、明確な見積書を作成しなければならない。

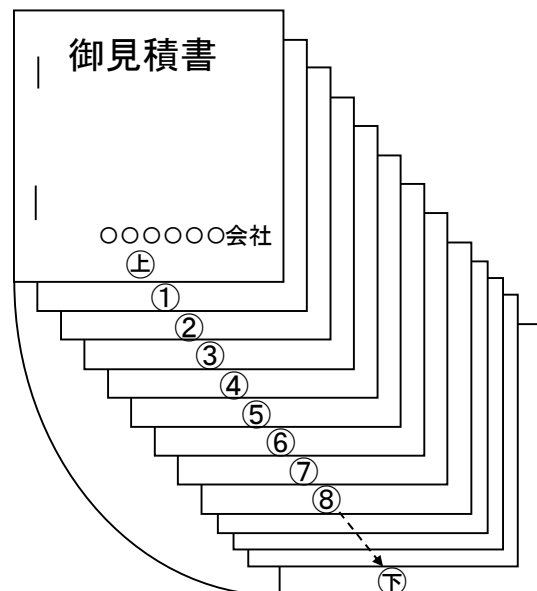
〔1〕見積書の用紙（書式）

見積書の書式は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事見積標準書式（建築工事編）」に基づく、（一社）日本サッシ協会標準書式（A4版たて用紙・横書き）を使用する。

〔2〕見積書の標準的な構成

1. 標準的な並び方は下記になる。

- ㊦ 表紙カバー
- ㊧ 冠紙、自社オリジナル。
- ① 見積鑑（御見積書）
- ② 御見積条件
- ③ 製品仕様
- ④ カーテンウォール製品仕様
- ⑤ 大臣認定防火設備（個別認定）仕様
- ⑥ 輸送・搬入に関する御見積条件
- ⑦ 施工に関する御見積条件
- ⑧ 御見積内訳書



2. 「カーテンウォール製品仕様」は、カーテンウォール工事の見積りがある時に使用する。

又、カーテンウォール工事のみの見積りの場合は、「製品仕様」は使用しない。

3. 「大臣認定防火設備（個別認定）仕様」については、大臣認定防火設備（個別認定）商品の見積りを提出する時に使用する。

4. 「輸送・搬入に関する御見積条件」を見積書に添付し、事前に適切な搬入計画を立て、追加費用が発生する場合は、その都度元請業者に請求することが重要である。

5. 「輸送・搬入に関する御見積条件」及び「施工に関する御見積条件」については、元請業者へ提出する時に使用する。よって、官公庁、設計事務所宛には使用しない。

〔3〕見積書の項目

本頁以降に注意事項と記載例を記す。

1. 見積鑑(御見積書)

(1) お見積No.

自社の見積台帳・ファイル管理の体系等による工事別の見積No. である。
引合い先から問合せがあった場合、お見積No. により迅速に対応できる。

(2) _____ 御中

見積書の宛先を正式名称で記入する。
引合い先からの宛先指定がある場合があるので注意する。

(3) 年 月 日

見積書の提出日を記入する。
引合い先からの日付指定がある場合があるので注意する。

(4) 会社名

郵便番号、所在地、電話番号、会社名、代表者等を記載する。

(5) お見積り総金額

見積りした諸工事項目の合計金額。
単価見積り等、合計金額とならない場合は、「単価見積」等と記入する。

(6) 法定福利費

お見積り総金額には含めず、別に計上する。

(7) 工事名

正確な工事名称を記入する。
引合い先からの指定工事名がある場合があるので注意する。

(8) 工事場所

現場住所を記入する。

(9) お見積り有効期間

通常は「1ヶ月(30日)」等と記入する。
引合い先から有効期間が指定される場合があるので注意する。

(10) 支払条件

「別紙見積条件による。」等と記入する。

(11) 納期

「〇〇〇〇年〇〇月」等と記入する。

(12) 受渡場所

貴現場渡し・・・通常は取付け場所であるが、受渡条件の異なる場合は明記する。
(例) ・工場渡し ・PC工場渡し ・指定倉庫渡し

(13) 総括表

見積りした工事項目(アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具等)の集計を記入する。

行数不足のときは、⑧御見積内訳書 の用紙を用いる。

御見積書

お見積No. ○○○○○

○○○○○○○○○○

御中

0000 年 00 月 00 日

下記の通りお見積いたしました。
 何卒ご用命のほどお願い申し上げます。
 本見積金額には消費税等は含まれておりません。
 ご契約に際しては消費税額等を別途計上して下さい。
法定福利費は施工作業員の社会保険料、子ども・子育て拠出金及び子ども・子育て支援金の事業主負担分です。
安全衛生経費は労働災害防止対策を適切に実施する上で必要な経費です。

お見積総金額	00000000円
--------	-----------

法定福利費	00000000円
-------	-----------

安全衛生経費	00000000円
--------	-----------

(お見積総金額には法定福利費・安全衛生経費を含んでおりません)

○○○○会社

〒0000-0000
 000000 00-00

TEL 000(000)0000
 FAX 000(000)0000

工 事 名	☆☆☆☆
工 事 場 所	○○○
お見積有効期間	1 ヶ 月
支 払 条 件	別紙見積条件による
納 期	0000年00月
受 渡 場 所	貴 現 場

照 査	営 業	積 算

符 号 ・ 名 称	寸 法 (mm)		数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	W	H				
総 括 表						
アルミニウム製建具			一式		0 000 000	
アルミニウム製カーテンウォール			一式		0 000 000	
鋼 製 建 具			一式		0 000 000	
ステンレス製建具			一式		0 000 000	
合 計					00 000 000	
法 定 福 利 費			一式		000 000	
安 全 衛 生 経 費			一式		000 000	

御見積条件

1. 一般事項

- (1) 年 月 日 ご提示の図面又は明細によりお見積いたしました。
- (2) お見積価格は、「対元請業者取引価格」といたします（元請経費は含みません）。
- (3) 期間経過後のご注文の節には再度お見積申し上げます。
- (4) ご契約後、情勢の変化により主要原材料価格、労賃等に著しい変動が生じた場合は、ご協議の上、価格改定をご了承ください。
- (5) 特にご提示なき事項については、当社仕様によりお見積申し上げます。
- (6) 製品は「製作取付図」のご承諾を得て製作いたします。
- (7) お見積内容は、「御見積内訳書」通りとし、お手数ながら寸法・数量等をご確認願います。
- (8) 災害保険加入等については貴方にてご負担願います。

2. お見積範囲

- (1) 一般付属品および特殊金物は、特記なき限り含みません。
 - A. 一般付属品・・・アングル、額縁、膳板、水切、結露受、笠木、ボーダー、網戸、ファンコイルカバー、カーテンボックス、フラッシング、排水パイプ、手すり、クリーニングボルト、木ネジ等。
 - B. 特殊金物・・・フロアヒンジ、シリンダー錠、**ドアクローザ**、押板、押棒、ピボットヒンジ、蹴り板、戸当り等。
- (2) お見積の工事範囲は下記チェックリストによります。
「○」印は見積に含み、その他は別途工事とします。

お見積チェックリスト

電磁レリーズ	自動開閉装置 (エンジン装置)	オペレーター	製品と付属品との 取合いシーリング
クリーニング 取付後(回)			

- (3) 下記工事はお見積に含みませんので、無償支給願います。
 - A. 熔接用鉄筋は無償支給願います。
 - B. 取付に要する足場掛け・揚重機械(操作員を含む)・ゴンドラ・電力および用水等
- (4) 下記工事は一切お見積に含みません。

基準墨出し	コンクリート研り	モルタル充填	鉄骨孔明け
埋込アンカーの埋込	躯体との取合 シーリング	硝子・硝子嵌込工事 (シール共)	煙感知器
電動配管	第一次配線装置	製品搬入後の養生	

※個別防火品の場合は、ガラス及びガラス留め材は所定の仕様にて対応願います。

- (5) 専任技術者または管理者の現場常駐費は一切含みません。
- (6) 工場立会い検査費用は、特記なき限り含みません。
- (7) 製品引渡し後の紛失・キズ・破損等による損害および補修費用は一切含みません。
- (8) 建物引渡し完了後の点検時立会い費用は一切含みません。

3. 精算等

以下の場合については、お見積の上、ご精算願います。

- (1) 契約内容からの寸法・数量・仕様等の変更。
- (2) 製品手配後の中止・変更。
- (3) 当社の責によらない、第三者による製品・部品等の紛失・キズ・破損等の損害および補修工事。
- (4) 特記なき場合の特急工事(短納期工事)、休日・早出・夜間作業等。
- (5) 当社の責によらない製品の保管・倉庫・再輸送費用等。
- (6) 見積範囲外の事項。

4. お支払条件

代金のお支払いは下記にてお願いいたします。

- (1) ご契約時に契約金の1/3。
- (2) 工場製作完了時に取付費を除く全額。
- (3) 取付完了後残金を1ヶ月以内に全額お支払い願います。

製品仕様

お見積 No. _____

本製品仕様は各金属製建具の共通製品仕様であり、御見積内訳書に記載無き場合は本製品仕様が適用されます。
御見積内訳書に記載の仕様は、本製品仕様より優先する事と致します。
弊社契約外商品(ガラス等)を含んだ「窓」、「ドア」の性能は参考値となります。

製品仕様	アルミニウム製建具	鋼製建具	鋼製軽量建具	ステンレス製建具
材料	押出形材 JIS H 4100のA-6063S-T5 板材 JIS H 4000のA1100P	鋼板 JIS G 3302の溶融亜鉛めっき鋼板 亜鉛付着量(両面) <input type="checkbox"/> Z12・F12 <input type="checkbox"/> 三方枠板厚 <input type="checkbox"/> 1.6mm <input type="checkbox"/> 2.3mm 扉表面板の厚さ <input type="checkbox"/> 1.6mm <input type="checkbox"/> 形鋼 JIS G 3101	鋼板 JIS G 3302の溶融亜鉛めっき鋼板又はJIS G 3313の電気亜鉛めっき鋼板 亜鉛付着量(両面) <input type="checkbox"/> Z06・F06 <input type="checkbox"/> E24 三方枠板厚 <input type="checkbox"/> 1.6mm <input type="checkbox"/> 2.3mm 扉表面板の厚さ <input type="checkbox"/> 0.6mm <input type="checkbox"/> 0.8mm	鋼板 JIS G 4305のSUS304 枠板厚 <input type="checkbox"/> 1.5mm <input type="checkbox"/> 2.0mm 扉表面板の厚さ <input type="checkbox"/> 1.5mm <input type="checkbox"/> 2.0mm
枠見込寸法	見積内訳書の記載による	見積内訳書の記載による	見積内訳書の記載による	見積内訳書の記載による
耐風圧性	<input type="checkbox"/> S-4(2000Pa) <input type="checkbox"/> S-5(2400Pa) <input type="checkbox"/> S-6(2800Pa) <input type="checkbox"/> S-7(3600Pa) <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
気密性	<input type="checkbox"/> A-2 <input type="checkbox"/> A-3 <input type="checkbox"/> A-4 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
水密性	<input type="checkbox"/> W-3(250Pa) <input type="checkbox"/> W-4(350Pa) <input type="checkbox"/> W-5(500Pa) <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
遮音性	<input type="checkbox"/> T-1 <input type="checkbox"/> T-2 <input type="checkbox"/> T-3 <input type="checkbox"/> T-4 <input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
断熱性	<input type="checkbox"/> H-1(4.7) <input type="checkbox"/> H-2(4.1) <input type="checkbox"/> H-3(3.5) <input type="checkbox"/> H-4(2.9) <input type="checkbox"/> H-5(2.3) <input type="checkbox"/> H-6(1.9)	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
表面処理 防錆塗装 表面仕上	表面処理 着色については見積内訳書の記載による <input type="checkbox"/> 陽極酸化皮膜 JIS H 8601 <input type="checkbox"/> AA15(平均皮膜厚さ 15.0μm以上) <input type="checkbox"/> AA6 (平均皮膜厚さ 6.0μm以上) (公共建築工事標準仕様書) <input type="checkbox"/> AB-1種 無着色陽極酸化皮膜 <input type="checkbox"/> AB-2種 着色陽極酸化皮膜 <input type="checkbox"/> 陽極酸化塗装複合皮膜 JIS H 8602 <input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B (公共建築工事標準仕様書) <input type="checkbox"/> 無着色陽極酸化塗装複合皮膜 <input type="checkbox"/> BA-1種 <input type="checkbox"/> BB-1種 <input type="checkbox"/> 着色陽極酸化塗装複合皮膜 <input type="checkbox"/> BA-2種 <input type="checkbox"/> BB-2種 <input type="checkbox"/> 御指定膜厚 皮膜 μm以上 塗膜 μm以上 <input type="checkbox"/> 焼付塗装 <input type="checkbox"/> アクリル樹脂焼付塗装 <input type="checkbox"/> ウレタン樹脂焼付塗装 <input type="checkbox"/> ふっ素樹脂焼付塗装 <input type="checkbox"/> ソリッド <input type="checkbox"/> メタリック μm	防錆塗装 錆止め塗装(工場一回塗) <input type="checkbox"/> 無着色陽極酸化皮膜 <input type="checkbox"/> 着色陽極酸化皮膜 <input type="checkbox"/> 当社標準錆止め塗料 <input type="checkbox"/> Az種 JPMS 28 <input type="checkbox"/> Bz種 JASS 18 M-109 <input type="checkbox"/> Cz種 JASS 18 M-111 <input type="checkbox"/> 焼付塗装	防錆塗装 錆止め塗装(工場一回塗) <input type="checkbox"/> 当社標準錆止め塗料 <input type="checkbox"/> Az種 JPMS 28 <input type="checkbox"/> Bz種 JASS 18 M-109 <input type="checkbox"/> Cz種 JASS 18 M-111 扉表面板 <input type="checkbox"/> 亜鉛めっき鋼板 <input type="checkbox"/> ビニル被覆鋼板 (化粧鋼板) <input type="checkbox"/> カラー鋼板 <input type="checkbox"/> 焼付塗装	表面仕上 <input type="checkbox"/> ヘアライン <input type="checkbox"/> 鏡面 <input type="checkbox"/> カラー <input type="checkbox"/> エッチング <input type="checkbox"/>
その他	網戸の網の種類 <input type="checkbox"/> 合成樹脂製 <input type="checkbox"/> ガラス繊維入り合成樹脂製 <input type="checkbox"/> ステンレス製		扉の芯材 <input type="checkbox"/> ペーパーコア <input type="checkbox"/> 水酸化アルミ無機シートコア	曲げ加工 <input type="checkbox"/> 普通曲げ <input type="checkbox"/> A角出し曲げ <input type="checkbox"/> B角出し曲げ <input type="checkbox"/> C角出し曲げ
形式 及び 備考				

カーテンウォール製品仕様

お見積No.

本製品仕様は各金属製建具の共通製品仕様であり、御見積内訳書に記載無き場合は本製品仕様が適用されます。
御見積内訳書に記載の仕様は、本製品仕様より優先する事と致します。
弊社契約外商品(ガラス等)を含んだ「窓」、「ドア」の性能は参考値となります。

1. 図面

(1) 建築図: 年 月 日 No.
(1) 参考図: 年 月 日 No.

2. 本体製品仕様

(1) 方式

ノックダウン ユニット その他
 等圧 断熱

(2) 形式

標準	
オーダー	新型 () 型

(3) 性能

耐風圧性	一般部	<input type="checkbox"/> S-4(2000Pa) <input type="checkbox"/> S-5(2400Pa) <input type="checkbox"/> S-6(2800Pa)
	負圧部	<input type="checkbox"/> S-4(2000Pa) <input type="checkbox"/> S-5(2400Pa) <input type="checkbox"/> S-6(2800Pa)
気密性	Fix部	<input type="checkbox"/> A-2 <input type="checkbox"/> A-3 <input type="checkbox"/> A-4
	可動部	<input type="checkbox"/> A-2 <input type="checkbox"/> A-3 <input type="checkbox"/> A-4
水密性	Fix部	<input type="checkbox"/> W-3(250Pa) <input type="checkbox"/> W-4(350Pa) <input type="checkbox"/> W-5(500Pa)
	可動部	<input type="checkbox"/> W-3(250Pa) <input type="checkbox"/> W-4(350Pa) <input type="checkbox"/> W-5(500Pa)

(4) 材料・仕上

	アルミ	スチール	ステンレス
材	押出型材 JIS H 4100 A6063S-T5	鋼板 亜鉛めっき鋼板	鋼板 JIS G 4305の
料	板材 JIS H 4000 A1100P	形鋼 JIS G 3101	SUS 304
表	表面処理	防錆塗装	(表面仕上)
	種別	錆止め塗装 (工場一回塗)	<input type="checkbox"/> ヘアライン
面	<input type="checkbox"/> 陽極酸化皮膜(JIS H 8601)	<input type="checkbox"/> 当社標準	<input type="checkbox"/> 鏡面
	種類	錆止め塗料	<input type="checkbox"/> カラー
処	<input type="checkbox"/> A-1種 無着色陽極酸化皮膜	<input type="checkbox"/> Az種 JPMS 28	<input type="checkbox"/> エッチング
	<input type="checkbox"/> A-2種 着色陽極酸化皮膜	<input type="checkbox"/> Bz種 JASS 18	<input type="checkbox"/> バイブレーション
理	<input type="checkbox"/> AA15(平均皮膜厚さ 15 μm以上)	<input type="checkbox"/> Cz種 JASS 18	
	<input type="checkbox"/> 陽極酸化塗装複合皮膜(JIS H 8602)	M-109	
	<input type="checkbox"/> B-1種 無着色陽極酸化塗装 複合皮膜	M-111	
	<input type="checkbox"/> B-2種 着色陽極酸化塗装 複合皮膜		
	種類		
	<input type="checkbox"/> A1 <input type="checkbox"/> A2 <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/>		
	<input type="checkbox"/>		
	皮膜 以上 塗膜 以上		
	<input type="checkbox"/> 焼付塗装	<input type="checkbox"/> 焼付塗装	(曲げ加工)
	<input type="checkbox"/> ソリッド <input type="checkbox"/> メタリック μm		<input type="checkbox"/> 普通曲げ
	<input type="checkbox"/> 特殊塗装		<input type="checkbox"/> 角出し曲げ
	<input type="checkbox"/>		

(5) パネル・ボード

パネル	材質	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> SUS	t
<input type="checkbox"/> 含	裏打ち材	<input type="checkbox"/> 岩綿 <input type="checkbox"/> 発泡ウレタン	t
<input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> アンダーコート	t
ボード	<input type="checkbox"/> 耐火		t 仕上塗装 <input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別
<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> 目隠 <input type="checkbox"/> 有孔 <input type="checkbox"/> 平		t 仕上塗装 <input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別

(6) 補強鉄骨

材料・サイズ		仕上
	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	
	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	
	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	

(7) 取付金具

材料・サイズ	材 質
<input type="checkbox"/> 一次ファスナー <input type="checkbox"/> 二次ファスナー	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST
<input type="checkbox"/> 先理アンカー(埋込別途) <input type="checkbox"/> スタッドボルト	<input type="checkbox"/> SUS

3. 付属品の仕様

名 称	見 積	材 質	仕 様・仕 上
笠 木	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> SUS	
下 部 見 切	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> SUS	
ボ ー ダ ー	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> SUS	
鉄骨カバー	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> SUS	
層 間 塞 ぎ	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> SUS	
ブラインドBOX	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> SUS	
膳 板 額 縁	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	<input type="checkbox"/> AL <input type="checkbox"/> ST <input type="checkbox"/> SUS	

4. 搬入

運搬用コンテナは見積に [含 不含] とします。

5. 取付

取付作業用足場は [有 無] として見積りました。

6. 現場シーリング

施工範囲	弊社製品間取合 <input type="checkbox"/> 別途
材 質	<input type="checkbox"/> シリコーン <input type="checkbox"/> ポリサルファイド
作業条件	<input type="checkbox"/> 足場 <input type="checkbox"/> ゴンドラ

7. 清掃

<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	回	作業条件: <input type="checkbox"/> 足場 <input type="checkbox"/> ゴンドラ
-------------------------------------------------------	---	-----------------------------------------------------------------

8. 硝子工事

シール材工一式 [含 不含] としますが、ガラスの施工は [取付後 現場荷揚前 製作工場] として見積りました。

9. 見本・テスト

モックアップサンプル	<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別
性能テスト	供試体: <input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別 場所: <input type="checkbox"/> 弊社 <input type="checkbox"/> 他
<input type="checkbox"/> 含 <input type="checkbox"/> 別	項目 <input type="checkbox"/> 強度 <input type="checkbox"/> 水密 <input type="checkbox"/> 気密 <input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 耐震 <input type="checkbox"/> 遮音 <input type="checkbox"/>

特記事項

5. 輸送・搬入に関する御見積条件

追加頁

- (1) 輸送費に関して有償対応となる内容を明確にする。
- (2) 車両指定、小運搬、搬入時間指定、搬入日変更や延長、キャンセルといった項目について顧客指示による変更は有償となる旨、明確にする。
- (3) 揚重センター経費の負担については、施工会社になる旨、明確にする。
- (4) 契約時・増減精算時に条件書を有効活用し、施工会社に対し事前確認及び精算時の追加折衝を粘り強く行うことが重要である。
- (5) 官公庁、設計事務所宛には使用しません。

6. 施工に関する御見積条件

- (1) 元請業者との施工現場における費用の負担条件を明確にする。
- (2) 官公庁、設計事務所宛には使用しません。

輸送・搬入に関する御見積条件

追加頁

	作業区分		費用負担	
	甲	乙	甲	乙
<p>1. 輸送・搬入に関する御見積範囲</p> <p>輸送・搬入に関する御見積範囲は、以下の見積条件の通りとします。</p> <p>(該当●印は作業区分、費用負担区分を示し、「甲は貴社」「乙は当社」とします。)</p>				
<p>2. 納期、搬入計画</p> <p>製品納期は、作業所で作成する工事工程表に基づきます。</p> <p>工事工程表が無い場合は、協議の上で納期を決定いたします。</p> <p>納期の決定後は、すみやかに搬入計画の協議とご承認をお願いします。</p>	●	●		
<p>3. 製品輸送用車両</p> <p>製品の輸送及び車両の選定は、特記なき限り乙にて行います。</p> <p>甲の指示により車両の指定がある場合は、有償とします。</p>		●		●
<p>4. 搬入時の誘導等</p> <p>入退場時のゲートでの搬入車両の誘導は、甲にてお願いします。</p> <p>フォークリフト等の荷降ろし機材及びオペレーターについては、甲にてお願いします。</p> <p>運送業者との連絡調整及びゲートから荷降ろし場所までの搬入車両の誘導については、乙にて行います。</p>	●		●	
<p>5. 待機、持ち戻り</p> <p>長時間の待機、持ち戻りが発生した場合等は、追加費用が発生します。</p>	●		●	
<p>6. 揚重、小運搬</p> <p>タワークレーン、荷取構台、工事用エレベータ等の設備及びオペレーター等の機材については甲にてお願いします。</p> <p>揚重のためのエレベーターへの積込み、積降し及び揚重のための玉掛け、玉外しについての作業は、乙にて行います。</p> <p>諸事情により揚重設備が使用できない、あるいは製品が積載できないなど、やむなく手荷揚げを行うことで、追加費用が発生する場合は、有償とします。</p> <p>揚重センターなど揚重業者にて揚重を行う場合は、契約前にご指示願います。なお費用については甲にてお願いしますが、乙で費用負担を受ける場合については、契約前に甲より乙に単価等ご提示をお願いします。</p>	●		●	
<p>7. 搬入日、搬入時間について</p> <p>甲と乙の協議により、搬入日・搬入時間を決定願います。キャンセルや時間変更については、新たな搬入日、搬入時間は協議により決定いたします。</p> <p>搬入日、搬入時間を変更することで、追加費用が発生する場合は、有償とします。</p>		●	●	
<p>8. 上記以外の項目</p> <p>上記以外の項目については、事前に協議願います。</p>	ご協議			

(一社) 日本サッシ協会標準書式

6. 御見積内訳書

(1) 工事項目（アルミニウム製建具、鋼製建具、鋼製軽量建具、ステンレス製建具）集計単位の工事項目名を各先頭に記入する。

(2) 製品代

①建具符号

同じ建具符号で、建具金物に相違がある場合は、別符号に分ける。

AW1→AW1A

②窓名称、総W・H寸法、一ヶ所数量、単価

〔製品本体に含むもの。
サッシ、ドア、方立、無目、杓摺、ピボットヒンジ、他。〕

③別計上・・・網戸

名称、W・H寸法、建具符号一ヶ所分数量、建具符号一ヶ所分単価

④別計上・・・付属部材

名称（出寸法、延巾、材質）、L寸法、建具符号一ヶ所分数量、建具符号一ヶ所分単価

〔膳板、額縁、水切、外額縁、ボーダー、笠木、アングル、結露受け、カーテンボックス、ブラインドボックス、フラッシング、ファンコイルカバー等。〕

⑤別計上・・・特記金物

名称（機種、品番）、建具符号一ヶ所分数量、建具一ヶ所分単価

〔フロアヒンジ、押板、押棒、ドアクローザ、錠前、蹴板、ドアヒンジ、引戸クローザ、排煙オペレーター、グレモン締め等。〕

⑥別計上、又は別途・・・特殊装置（見積条件・範囲を明確にする。）

名称（機種、品番）、建具符号一ヶ所分数量、建具一ヶ所分単価

〔煙感知器、電磁リリース、自動開閉装置、電動オペレーター、電気錠、リミットスイッチ等。〕

⑦備考欄：窓名称、御見積条件、製品仕様等では表現しきれない内容を記入する。

（備考欄リスト例参照）

〔・製品シリーズ ・ 枠見込 ・ 仕上 ・ 本体に含む付属品 ・ 他社製品との取合い部の範囲
明示 ・ 鉄骨工事（含む、含まず、サイズの明示） ・ 別途事項〕

※出来る限り見積り内容を明確にすることが、後日に精算を行うためにも重要である。

(3) 小計

建具符号数量、一ヶ所分単価、数量倍金額。

(4) 工事項目別の集計

製品代計

(内訳小計金額の合計)

設計費（設計技術料）
運搬費
取付費
現場シーリング費
クリーニング費
諸経費

（経費項目：
工事項目全体の金額を経費項目毎に一括計上する。
左記の項目は標準的な項目であるが、工事内容によって
計上しない項目もある。）

合計

(工事項目合計金額)

法定福利費

(工事項目法定福利費)

安全衛生経費

(工事項目安全衛生経費)

(5) 経費項目の補助解説

①防錆塗装費

鋼製建具の防錆塗装は通常は製品代に含む。特殊仕様等で別計上する場合がある。

②新形治工具代

製品の意匠、性能等により新規ダイスの製作、治工具及び金型等の製作費。

製品代に含める場合もある。

③試作性能試験費

供試体、性能試験費（自社、公的機関、ガラスメーカー）。別冊見積りとする場合もある。

④設計費（設計技術料）

施工図作成及びそれに係わる経費

⑤運送梱包費

運搬費（トラック、貨車、船、航空便）、養生（ビニール）、簡易梱包、木枠梱包。

製品代に含める場合もある。

⑥コンテナ費

大型工事、及び製品の種類により輸送、荷揚げを主目的としたコンテナを用意する。

この時コンテナの持ち帰り費用も発生する。運搬費に含める場合もある。

⑦取付費

製品の小運搬、取付け調整、出張経費。

⑧現場シーリング費

躯体との取合い部は原則として別途工事。他社製品との取合い部のある時は範囲を明示する。

取付費に含める場合もある。

⑨クリーニング費

製品取付直後、又は製品引渡し時の清掃。行う場合は原則として1回であるが、回数を明示する。

取付費に含める場合もある。

⑩諸経費

その他現場にて発生する諸経費。

⑪法定福利費

企業（事業主）が負担する社会保険料（雇用保険・厚生年金保険・健康保険等）。

⑫安全衛生経費

労働安全衛生法に基づく労働災害防止対策に要する費用（安全管理・安全施設・安全訓練研修・健康診断等）。

御見積内訳書

お見積 No. _____

工 事 名 _____

P. 1

符 号 ・ 名 称	寸 法 (mm)		数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	W	H				
アルミニウム製建具						
AW1 引違い窓	1800	2000	1	000000		枠見込 70 〇〇〇 〇〇〇
可動網戸 (合成樹脂製)	900	2000	1	000000		
アングル	L=7600		1	000000		
水 切	L=1800		1	000000		巾 100
小 計			5	000000	0 000000	
AW1A 同 上	2000	2000	1	000000		枠見込 70 〇〇〇 〇〇〇
可動網戸 (合成樹脂製)	1000	2000	1	000000		
アングル	L=8600		1	000000		
水 切	L=2800		1	000000		巾 100
小 計			2	000000	0 000000	
製品代計			一式		0 000000	
設計費			一式		000000	
運搬費			一式		000000	
取付費			一式		000000	
現場シーリング費			一式		000000	
クリーニング費 (1回)			一式		000000	
諸経費			一式		000000	
合 計					0 000000	
法定福利費			一式		000000	
安全衛生経費			一式		000000	

御見積内訳書

お見積 No. _____

工 事 名

P. 2

符 号 ・ 名 称	寸 法 (mm)		数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	W	H				
アルミニウム製カーテンウォール						
A CW 1 たて軸回転10部、排煙外倒し10部	12000	17500	1	0 000 000		耐火ボード
F I Xカーテンウォール						00mm厚 塗装仕上げ共。
層間ふさぎ材含みます。						
笠木(L=12,000)含みます。						
ブラインドボックス(スチール製1.6t)	L=	12000	5	00000		
排煙オペレーター(00-000 2連用)			5	00000		
小 計			2	0 000 000	0 000 000	
製品代計			一式		0 000 000	
設計費			一式		00 000	
運搬費			一式		00 000	
取付費			一式		000 000	
現場シーリング費			一式		00 000	
クリーニング費(1回)			一式		00 000	
諸経費			一式		00 000	
合 計					0 000 000	
法定福利費			一式		00 000	
安全衛生経費			一式		00 000	

(一社) 日本サッシ協会標準書式

御見積内訳書

お見積 No. _____

工 事 名

P. 3

符 号 ・ 名 称	寸 法 (mm)		数 量	単 価 (円)	金 額 (円)	備 考
	W	H				
鋼製建具						
SD-1 両開きフラッシュドア (SAT)	1600	2000	1	000000		枠見込〇〇〇
ステンレス沓摺 t=1.5 気密型			1	000000		
錠 前 (〇〇〇)			1	000000		
ドアクローザ (〇〇〇)			2	000000		
閉鎖順位調整器 (〇〇〇)			1	000000		
戸当り (〇〇〇)			2	000000		
小 計			5	000000	0 000000	
SD-2 片開防火ドア (戸袋・潜戸付)	1300	2400	1	000000		枠見込〇〇〇
ステンレス沓摺 t=1.5 扉巾			1	000000		
オートヒンジ (〇〇〇)			1	000000		
オートヒンジ潜戸用 (〇〇〇)			1	000000		
ケースハンドル (〇〇〇)			2	000000		
小 計			3	000000	0 000000	
製 品 代 計			一式		0 000000	
設 計 費			一式		000000	
運 搬 費			一式		000000	
取 付 費			一式		000000	
諸 経 費			一式		000000	
合 計					0 000000	
法定福利費			一式		000000	
安全衛生経費			一式		000000	

(一社) 日本サッシ協会標準書式

	関連項目	コメント
④	防火設備	<p>a. ○○○は防火設備の対象外の形式の為、□□□にて御見積り致しました 注：「○○○」「□□□」には窓種名等を記入する</p> <p>b. 建具表のWH寸法では防火設備の認定寸法を超える為、$W = \times \times \times$，$H = \times \times \times$に変更して御見積り致しました</p> <p>c. 削除</p>
⑤	見積範囲	a. アルミ笠木、下部見切り縁、層間ふさぎ材は含みます

5. 共通

	関連項目	コメント
①	鋼材関係	<p>a. ○○は別途工事と致します 注：「○○」には形鋼の形状、サイズ、内容を記入する 例 ・ H形鋼は別途工事と致します ・ 鉄骨下地は別途工事と致します ・ 方立部のH形鋼は別途工事と致します ・ C T鋼は別途工事と致します ・ 下地鉄骨工事は別途工事と致します ・ 鉄骨工事及び梁下鉄骨一式別途工事と致します</p> <p>b. ブラケットはスチール製と致します</p> <p>c. 下地○形鋼○○×○○×○×○（防錆塗装）は含みます 注：「○○」、「○」には形鋼の形状、サイズを記入する</p> <p>d. S t形鋼露出部は錆止めまでとします</p> <p>e. 下地鉄骨は別途。但し硝子ブロック枠のH鋼は含みます</p> <p>f. 無目後方の内部補強は別途工事と致します</p>
②	仕上	<p>a. グラファイト仕上げは別途工事と致します</p> <p>b. ヘアライン仕上げにて御見積り致しました</p> <p>c. 鏡面仕上げにて御見積り致しました</p> <p>d. SUS304（1.5t）鏡面仕上げ（角出し曲げ）にて御見積り致しました</p> <p>e. 防錆処理迄と致します</p> <p>f. ○○にて御見積り致しました 注：「○○」には色、膜厚等を記入する 例 ・ 複合皮膜弊社標準色A1にて御見積り致しました ・ アクリル樹脂焼付塗装（40μm）にて御見積り致しました ・ ふっ素樹脂焼付塗装（40μm）にて御見積り致しました ・ ふっ素樹脂焼付塗装（メタリック60μm）にて御見積り致しました</p>
③	エンジン	<p>a. エンジン装置一式は別途工事と致します</p> <p>b. エンジン装置及び付属部品一式は別途工事と致します</p> <p>c. エンジン装置はレーダースイッチで御見積り致しました</p> <p>d. オートドアエンジンは材工共一式含みません</p>

	関連項目	コメント
④	オペレーター	a. オペレーター装置は別途工事と致します b. 躯体埋込用配管工事は含みません c. オペレーターは×××式△△△型と致します 注：×××には操作方法を、△△△にはボックスの埋込形式を記入する 例 <ul style="list-style-type: none"> ・オペレーターは手動式埋込型と致します ・オペレーターは手動式露出型と致します
⑤	ガラス	a. 強化ガラス及び付属部品は別途工事と致します b. 強化硝子扉とその付属部品は材工共一式含みません c. 硝子及び硝子シール材工共別途工事と致します
⑥	化粧材	a. 無目外部化粧カバー付とします b. 化粧ボーダー付
⑦	シャッター	a. シャッターとの取合いは材工一式含みません
⑧	電気工事	a. 制御装置、一次、二次配管、配線、結線は含みません b. 制御装置、電源ボックスは別途工事と致します c. 二次側結線調整費は別途工事と致します d. 制御盤及び結線調整は別途工事と致します
⑨	性能	a. 性能は耐風圧性〇〇・気密性〇〇・水密性〇〇・遮音性〇〇と致します 注：〇〇にはそれぞれ性能値を記入する 例 <ul style="list-style-type: none"> ・性能は耐風圧性S-7・気密性A-4・水密性W-5・遮音性T-2と致します
⑩	パネル	a. サンドイッチパネルは別途工事と致します b. 屋根はアルミパネル t=〇（裏面発泡ウレタン吹付け）と致します 注：「〇」には板厚を記入する c. パネル等は見積りに含みません d. アルミパネルは含みます e. 鉄骨カバーパネル（アルミ曲物〇. 〇 t）は含みます 注：「〇. 〇」には板厚を記入する f. 軒天スパンドレルは別途工事と致します g. EXP. Jは別途工事と致します h. アルミパネル〇. 〇 t（裏面アンダーコート〇 t吹付け）と致します 注：「〇. 〇」には板厚を、「〇」には吹付けの厚さを記入する i. アルミスパンドレル及び下地材、材工共別途工事と致します j. 庇及び下地鉄骨一式別途工事とします
⑪	部材	a. 水切は見積りに含みません b. ◇◇は××〇 t △△と致します 注：◇◇には部材名を、××には材質を、〇には板厚を、△△には仕上げをそれぞれ記入する 例 <ul style="list-style-type: none"> ・カーテンボックスはスチール1.6 t 防錆塗装と致します ・ブラインドボックスはスチール1.6 t 防錆塗装と致します ・額縁はスチール1.6 t 防錆塗装と致します ・膳板はスチール1.6 t 防錆塗装と致します ・カーテンボックスはスチール1.6 t 焼付塗装と致します ・水切はアルミ曲物2.0 t シルバーと致します